

管内では初めて

常総地区安全衛生大会が開催されました



(一社)常総労働基準協会(理事長 山野井周一)は、常総労働基準監督署(署長 尾畑宏忠)管内では初めて常総地区安全衛生大会を本年2月13日に開催し、事業場の安全衛生担当者など106名が出席しました。

大会は2部構成となっており、第1部を安全衛生大会、第2部を働き方改革研修会と位置付けて、労働災害発生状況や働き方改革関連法及び適正な労働条件管理について常総労働基準監督署の担当官から説明を行ったほか、災害防止に関する取り組み事例について、(株)明治守谷工場から発表を行いました。

常総労働基準監督署管内における労働災害は平成30年における休業4日以上の労働災害が298件(12月末現在)となり、前年に比べて5%増加しています。

常総労働基準監督署では平成30年11月9日に「労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請」を各関係団体に行っており、今後とも労働災害防止を推進していくこととしています。

